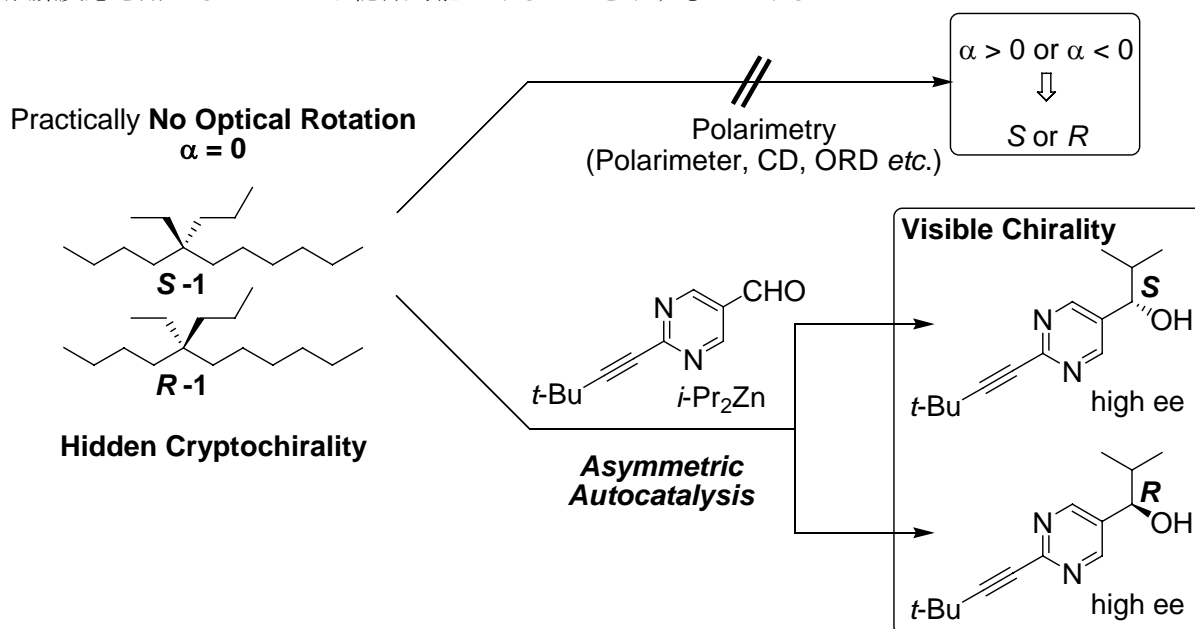


希望発表形式(口頭 or ポスター)	口頭発表
題目	不斉自己触媒反応による高感度不斉認識
発表者氏名(講演者に○印)	○理大太郎 ¹⁾ , 東京三郎 ²⁾ , 新宿次郎 ¹⁾ , 神楽坂一 ^{1,2)} , 理大花子 ²⁾ .*
発表者氏名(英語)	Taro Ridai ¹⁾ , Tokyo Saburou ²⁾ , Jiro Shinjuku ¹⁾ , Hajime Kagurazaka ^{1,2)} , Hanako Ridai ²⁾ .*
所属機関	1)東京理科大学理学部応用化学科, 2)神楽坂大学理学部化学科
代表者氏名	理大太郎
郵便番号	162-8601
住所	東京都新宿区神楽坂 1-3
電話番号	03-3260-4272 ext. 5792
e-mail	mc2007(at)rs.kagu.tus.ac.jp

講演概要(500字以内): キラルな飽和炭化水素と他の化合物との相互作用は微小であり, その不斉を認識することは極めて困難である. キラルな飽和炭化水素を不斉開始剤として用い, ピリジンカルバルデヒドと*i*-Pr₂Znとの不斉自己触媒反応を行った結果, 飽和炭化水素の立体に相関した絶対配置を持つピリジジルアルコールが得られた. これは認識困難な飽和炭化水素のキラリティーが, 不斉自己触媒反応を用いることにより認識可能であることを示すものである.



参考文献

1) Kawasaki, T.; Tanaka, H.; Tsutsumi, T.; Kasahara, T.; Sato, I.; Soai, K. *J. Am. Chem. Soc.* **2006**, *128*, 6032-6033.